

6 . 事業実施による環境の変化

(1)生活環境面の変化

防火用水機能の向上（地域用水機能増進施設）

本事業及び関連事業では、消防用ホースに接続が可能な給水栓を用水路に設置するなど、農業用水を初期消火用水として活用できるような整備が行われており、地域における災害に対する安全性が向上している。

受益農家アンケート調査でも、「用水を活用して防火用水が手当されたことにより、安心感がもてた」と評価されている。



消防水利(防火水槽：補完ハードで整備)
平成 27 年 8 月 9 日撮影



消防用水併用の給水栓
(給水口にアダプターを取付対応)
平成 27 年 8 月 9 日撮影

注：補完ハードとは、生活用水、防火用水、環境用水等の地域用水機能を支える組織とその活動を支援する事業（ソフト事業）を補完する、施設等の整備事業のこと。本地区では、関係市町により整備している。



親水機能の向上（地域用水機能増進施設）

本事業及び関連事業では、用水路の一部で、水遊びができる水路や水生生物の観察ができる水路が整備され地域住民に有効に活用されており、生活環境の向上につながっている。



公園内を流れる水路（中富良野町新町公園内）
（平成 27 年 8 月 9 日撮影）

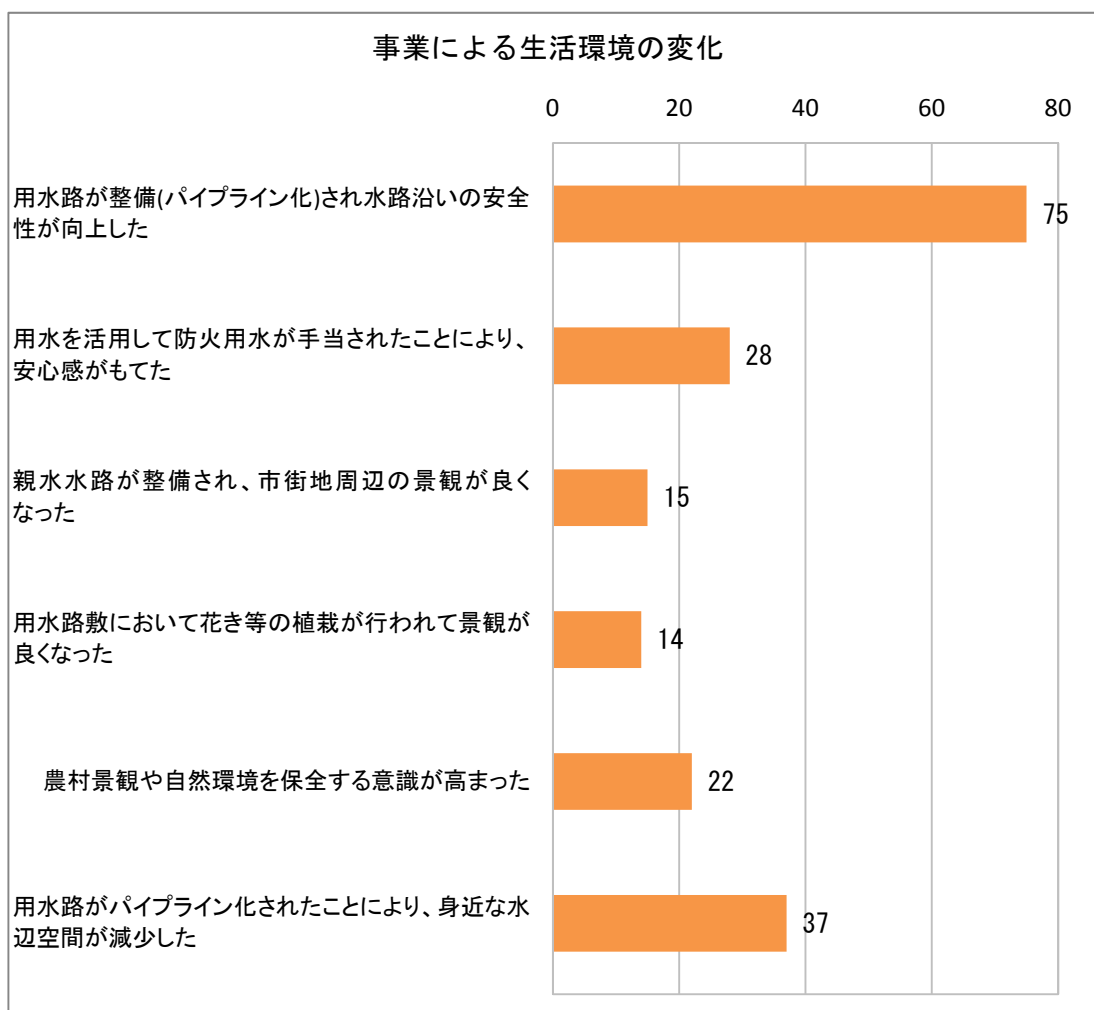


ふれあい水路
（平成 27 年 8 月 9 日撮影）

その他

地域は、北海道有数の観光地として、景観を楽しむために観光客が訪れており、基盤整備によって維持されている広大な農地が生み出す景観は、観光面でも効果を発揮している。(地元市町聞き取り結果)

また、本事業及び関連事業によって、末端まで用水路がパイプライン化されたことにより、水路周辺の安全性の向上が図られており、受益農家アンケート調査でも、「用水路が整備(パイプライン化)され水路沿いの安全性が向上した」との回答があった。一方で、「用水路がパイプライン化されたことにより、身近な水辺空間が減少した」という意見もあった。



(アンケート配布農家数 339 戸、回収農家数 110 戸、回答農家数 110 戸)

(2) 自然環境面の变化

自然環境の保全

本地区のかんがい用水を取水している布部川では、スナヤツメ、ニジマス、フクドジョウ、ハナカジカが確認されていたため、布部川頭首工の整備にあたっては魚道を設置し、魚類の生息環境への配慮を行っている。

平成 28 年 6 月に行った魚類調査では、頭首工上流でヤマメなどの生息が確認された。



布部川頭首工



布部川頭首工に設置された魚道

7. 今後の課題

地区内では、本事業で整備された農業生産基盤のもと、現在進められているほ場の大区画化及び地下水位制御システムの整備等による効果の発現により、更なる生産性向上を図ることとしている。

現在実施中の農業生産基盤整備による更なる効果の発現のため、農業用水を安定的に供給する本事業の効果が持続的に発揮されることが重要であり、整備した農業用水施設の機能診断を定期的を実施し、適時適切な補修・補強を行うとともに、計画的な更新整備を実施する必要がある。

8. 総合評価

本事業及び関連事業の実施により、かんがい用水の安定供給及びほ場整備が行われ、水管理の合理化、農作物の生産性の向上、営農作業の効率化等の効果が発現し、農業経営の安定に寄与している。

水田の用水改良及び区画整理により、適期の代かき、移植及び深水かんがいが行われ、「ななつぼし」、「ゆめぴりか」等の良食味米の作付が増加するとともに、用水を活用し、たまねぎなど野菜類の生産拡大や品質向上が図られている。

また、安定した農作物の生産と営農作業の効率化は、環境保全型農業の展開や6次産業化を通じた農家所得向上の取組につながっている。

加えて、本事業で整備したせせらぎ水路や防火柵等においては、地域用水機能が十分に発現されているとともに、基盤整備によって形成された広大な農地が生み出す景観は、観光面でも効果を発揮している。